

指定管理者評価票（平成30年度分）

全般的事項

施設名称：瑞穂町耕心館  
 担当部課係：教育部 社会教育課 推進係（～H26.9.30）  
 教育部 図書館 文化財担当（H26.10.1～）

1 指定管理者の名称	アクティオ株式会社
2 指定管理の期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで 5年
3 指定管理の目的及び求める効果	耕心館の管理運営を効率的かつ効果的に行なうため、耕心館指定管理者制度を導入する。
4 指定管理の業務内容	1 事業の実施に関する業務 2 施設等の使用の許可に関する業務 3 施設等の維持管理に関する業務 4 利用料金の収受
5 施設の概要	
(1)施設及びサービスの内容	コンサート・展示会など各種事業を展開し、地域文化の一層の増進と住民に安らぎを与える。
(2)規模	敷地 3668.59㎡ 建物 母屋461.86㎡ 事務所49.58㎡ 蔵65.52㎡
(3)設備内容	母屋1階 和室、洋室、展示ギャラリー、くつろぎの間 母屋2階 多目的大広間、ステージ、控室
(4)設置年月及び経過年数（導入時）	江戸時代末期 (導入後10年経過)
(5)建設費用	土地購入費 3億3千万円 建物 無償
(6)大規模改修の経緯と費用	平成12年6月、フランス料理店の跡地を社会教育施設として瑞穂町が購入。平成13年度、15年度3,780万円をかけて改修工事を実施。
(7)維持補修・改修の予定及び時期	
6 指定管理における具体的な目標	
(1)利用者へのサービス水準の向上目標	開館時間、開館日数の増大、主催事業数の変更、専用ホームページの開設。
(2)運営の効率化に関する目標	予実管理表、事業計画、業務日報を作成し、PDCAマネジメントサイクルにて運用し見直しと効率化を図る。
(3)施設維持管理費に関する削減目標	維持管理の基本方針（法令順守・保守点検・不具合時の迅速対応・省エネ/省資源・利用者の意識喚起・予防保全）と維持管理業務計画による経費削減に取り組む。
(4)その他の目標	町民が安らぎとゆとりの時を過ごし、憩いの場となることを目標とする。
7 モニタリング（利用者の意見把握）の内容	アンケート実施

指定管理評価票（平成30年度分） 個別項目・総括

施設の名称： 瑞穂町耕心館  
 担当部課係： 教育部 社会教育課 推進係（～H26.9.30）  
 教育部 図書館 文化財担当（H26.10.1～）

業務評価指標

		前指定末 (H25)	H26	H27	H28	H29	H30	
協定書・仕様書で示した事項	文化、芸術の普及・振興に関する事業	全主催事業数 59 事業	全主催事業数 64 事業	全主催事業数 71 事業	全主催事業数 76 事業	全主催事業数 77 事業	全主催事業数 75 事業	
	使用の許可及び制限等に関する業務	適正に運営	適正に運営	適正に運営	適正に運営	適正に運営	適正に運営	
	利用料金の収受業務	362,560	287,500	322,600	266,050	175,550	186,920	円
	喫茶コーナーの運営業務	13,023	13,701	14,363	13,606	15,883	13,926	人
	施設、設備の維持及び保全業務	適正に運営	適正に運営	適正に運営	適正に運営	適正に運営	適正に運営	
	清掃その他環境衛生管理業務	適正に運営	適正に運営	適正に運営	適正に運営	適正に運営	適正に運営	
開館日数等 (条例で示した施設目的の達成度)	条例で示した開館日数	345	347	347	347	347	347	日
	実開館日数	345	347	347	347	347	347	日
維持管理状態		上記で示した事項に記載のとおり	上記で示した事項に記載のとおり	上記で示した事項に記載のとおり	上記で示した事項に記載のとおり	上記で示した事項に記載のとおり	上記で示した事項に記載のとおり	

インプット指標（行政資源（歳出・人・物）の投入量）

		前指定末 (H25)	H26	H27	H28	H29	H30	
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料（委託料）		34,473,000	38,932,000	41,607,000	38,694,000	38,236,000	38,235,000	円
指定前の管理経費（町支出以外）または指定管理料以外の支出金額		682,500	0	0	0	0	0	円
職員の投入実態		175,000	175,000	175,000	175,000	175,000	175,000	円（時間*人/週）
物品の提供実態		0	0	0	0	0	0	円
インプット指標合計		35,330,500	39,107,000	41,782,000	38,869,000	38,411,000	38,410,000	円
提供物品の名称と数量：					0	0	0	

アウトプット指標（事業の活動量、活動実績）

		前指定末 (H25)	H26	H27	H28	H29	H30	
施設延べ利用者数		49,490	66,154	69,698	59,019	62,322	67,327	人/年間
実利用者内訳（町内外利用者別）	町内在住者				0	0	0	人/年間
	町外在住者				0	0	0	人/年間
施設稼働率 (施設稼働日数及び貸出日数)	貸出日数	284	292	288	279	278	283	日/年
	稼働日数	345	347	347	347	347	347	日/年
	稼働率	82%	84%	83%	80%	80%	82%	
利用料収入		362,560	287,500	322,600	266,050	175,550	186,920	円
その他収入	事務所家賃 *				0	0	0	円
	事務所光熱水費 *				0	0	0	円
	主催事業入場料等	3,519,709	3,446,075	4,043,929	3,852,875	3,912,596	3,408,449	円
	計	3,519,709	3,446,075	4,436,863	3,852,875	3,912,596	3,408,449	円

※ 指定管理者が管理の範囲を超えて事務所を使用する場合の室料、光熱費等を計上する。

業務収支

収入の部	前指定末						円
	(H25)	H26	H27	H28	H29	H30	
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料	34,473,000	38,932,000	41,607,000	38,694,000	38,236,000	38,235,000	円
指定前の管理経費（町支出以外）または公的援助	857,500	175,000	175,000	175,000	175,000	175,000	円
利用料収入	362,560	287,500	322,600	266,050	175,550	186,920	円
その他収入	3,519,709	3,446,075	4,043,929	3,852,875	3,912,596	3,408,449	円
収入の部 合計	算定	39,212,769	42,840,575	46,148,529	42,987,925	42,499,146	42,005,369 円
	実収入	39,037,769	42,665,575	45,973,529	42,812,925	42,324,146	41,830,369 円

支出の部	前指定末						円
	(H25)	H26	H27	H28	H29	H30	
報酬	13,732,365	14,027,018	16,512,051	16,497,773	17,185,525	17,351,861	円
賃金（臨時職員等）	2,280,930	2,038,746	1,053,364	1,496,467	1,503,808	1,485,694	円
報償費（出演者、講師、審査員謝礼）	5,346,131	4,867,300	5,448,136	5,667,661	5,379,507	5,152,458	円
需用費（消耗品、燃料費、印刷製本費、修繕料、食糧費）	6,344,903	6,176,302	6,629,550	6,531,489	7,082,220	6,971,140	円
役務費（通信運搬費（切手、電話代）自動車保険料、建物保険料ピアノ調律）	1,121,634	1,309,937	1,268,851	1,562,958	1,397,609	1,403,385	円
委託料（保守点検、警備、定期清掃、庭木選定）	4,679,274	4,899,184	4,310,832	3,760,206	3,649,459	3,873,700	円
使用料及び賃借料（ラジオ聴取料、電柱共架料）	147,437	150,555	105,624	105,624	164,997	145,260	円
事務費	4,597,953	9,124,181	10,475,722	7,096,017	5,941,581	5,245,711	円
備品購入費	104,642	72,352	169,399	94,730	19,440	201,160	円
支出の部 合計	38,355,269	42,665,575	45,973,529	42,812,925	42,324,146	41,830,369	円

収支差引	算定	857,500	175,000	175,000	175,000	175,000	175,000	円
	実収支	682,500	0	0	0	0	0	円

指定管理者自己評価 ※平成24年度分より追加

利用者数の増加への取組み	H26	利用者のお声をよくお聞きして、施設運営や企画事業の内容をさらに充実させ顧客満足度の向上に努めるとともに、郷土資料館が開館されたことを受け両館合わせた、エリアでの企画を実施することで、利用者の増加を図りました。前年比133.7%、16,664人増の来館者がありました。
	H27	設置目的に則した施設運営、委託事業のジュニアピアノコンサート、サロンコンサート、主催事業のノクターンコンサート他、つるし飾りなどの事業に取り組み、前年度比105.4%、3,544人増となりました。
	H28	けやき館との連携事業である「みずほ雛の春まつり」では、昨年から実施している箱根ヶ崎駅からのシャトルバスを増便（平日運行）しました。また、町内外の広報活動を充実させるなど、来館者の利便性の向上に努めました。
	H29	設置目的に則した施設運営、委託事業のジュニアピアノコンサート、サロンコンサート、主催事業のノクターンコンサート、企画展、つるし飾り等を実施し、来館者増に取り組み、前年度比5.6%、3,303人増となりました。
	H30	設置目的に則した施設運営、委託事業のジュニアピアノコンサート、サロンコンサート、主催事業のノクターンコンサート、企画展、つるし飾り等を実施し、来館者増に取り組み、前年度比8%、5,005人増となりました。
収入増に対する取組み	H26	郷土資料館と協業して、広告宣伝活動の充実を図り事業の共同開催も実施し施設利用（貸室事業）の向上に努めました。合わせて、オリジナルグッズの開発、イベントの実施により瑞穂ブランド等の販売に努め収入増を図りました。
	H27	貸室事業のほか、各回コンサートのチケット販売、つるし飾りの関連グッズ販売に取り組み、収入増を図りました。
	H28	貸室事業のほか、各回コンサートのチケット販売、つるし飾りの関連グッズ販売など、収入増に取り組みましたが、前年度比94%、261,504円の収入減となりました。
	H29	貸室事業のほか、各回コンサートのチケット販売、つるし飾りの関連グッズ販売など、収入増に取り組みましたが、前年度比0.8%、30,779円の収入減となりました。
	H30	貸室事業のほか、各回コンサートのチケット販売、つるし飾りの関連グッズ販売など、収入増に取り組みましたが、前年度比12.1%、492,777円の収入減となりました。

コスト削減に対する取組み	H26	管理、運営ともに当社の全国展開のスケールメリットを活かし、業者選定、企画事業、出演者の手配等を行い、コスト意識の徹底と費用削減に努めました。
	H27	従来の実績を活かして、コンサート出演者の謝金増加抑制に取り組みました。
	H28	従来の実績を活かして、コンサート出演者の謝金増加抑制に取り組みました。
	H29	従来の実績を活かし、コンサート出演者の謝金増加抑制、展示事業に係る経費の増加抑制に努めました。
	H30	従来の実績を活かし、コンサート出演者の謝金増加抑制、展示事業に係る経費の増加抑制に努めました。

アウトカム指標（施設・事業がもたらす効用等）

利用者の利便性改善	H26	郷土資料館との併設により駐車場が拡大し、また、またエリアとしてのPR活動を充実させ場所の認知度向上に努めました。
	H27	けやき館との連携を含めて、館内外の広報活動を充実させ、当館の利用を促しました。
	H28	けやき館との連携事業である「みずほ雛の春まつり」では、昨年実施している箱根ヶ崎駅からのシャトルバスを増便（平日運行）しました。また、町内外の広報活動を充実させるなど、来館者の利便性の向上に努めました。
	H29	けやき館との連携事業である「みずほ雛の春まつり」では、箱根ヶ崎駅からのシャトルバスを平成28年度に引き続き、会期中毎日運行しました。また、近隣のひな祭りの情報を集約した「西多摩・JR沿線ひな祭り広域マップ」を新規制作し、近隣の自治体や施設、各会場の最寄り駅との連携を図ることで、町内外の来館者の利便性の向上に努めました。
	H30	けやき館との連携事業である「みずほ雛の春まつり」では、箱根ヶ崎駅からのシャトルバスを平成29年度に引き続き、会期中毎日運行しました。また、近隣のひな祭りの情報を集約した「西多摩・JR沿線ひな祭り広域マップ」を新規制作し、近隣の自治体や施設、各会場の最寄り駅との連携を図ることで、町内外の来館者の利便性向上に努めました。
プログラム等質の改善	H26	利用者の声（アンケート）をよく理解した事業企画の実施に努め、主催事業、コンサート、イベントの来館者は15,728名（8,595名増）にのびりました。
	H27	地域文化の理解に基づくコンサートや企画事業の実施に取り組みました。
	H28	地域文化の理解に基づくコンサートや企画事業の実施に取り組みました。
	H29	地域文化の理解に基づくコンサートや企画事業の実施に取り組みました。主催事業、コンサート、イベントの来館者は43,304名（1,972名増）にのびりました。
	H30	地域文化の理解に基づくコンサートや企画事業の実施に取り組みました。主催事業、コンサート、イベントの来館者は43,304名（1,972名増）にのびりました。
利用者の満足度 （アンケート等客観的もの）	H26	主催事業、コンサート、イベントについて、開催毎にアンケートを実施しております。利用者のご要望を開催事業に反映させるよう努めております。
	H27	来館者に対してコンサートなどのアンケート調査を実施しました。利用者の要望が反映できるよう努めています。
	H28	来館者に対してコンサートなどのアンケート調査を実施しました。利用者の要望が反映できるよう努めています。
	H29	来館者に対してコンサートなどのアンケート調査を実施しました。「大変良い」、「良い」の回答は89%と評価を得ています。
	H30	来館者に対してコンサートなどのアンケート調査を実施しました。「大変良い」、「良い」の回答は89%と評価を得ています。

その他

前指定末 (H25) H26 H27 H28 H29 H30

		前指定末 (H25)	H26	H27	H28	H29	H30			
建設経費 (元利返還費用)	建設費	0	0	0	0	0	0	円		
	償還利息	0	0	0	0	0	0	円		
利用者1人あたりの経費 (指定管理料等及び指定管理料等+建設経費)	利用者数	49,490	66,154	69,698	59,019	62,322	67,327	人/年間		
	管理経費または指定管理料等	35,330,500	39,107,000	41,782,000	38,869,000	38,411,000	38,410,000	円		
	管理経費または指定管理料等/人	714	591	599	659	616	570	円/人		
	(管理経費または指定管理料+建設費)/人	714	591	599	659	616	570	円/人		
修繕費 (協定等に基づく指定管理者負担上限額: 20万円/件)	指定管理者が行なった修繕	件数	9	2	15	10	13	13	件	
		金額	326,450	129,060	473,958	315,540	794,988	783,362	円	
	町が行なった修繕	件数	1	2	2	2	1	1	件	
		金額	682,500	1,866,240	1,624,320	2,046,600	739,800	2,956,608	円	
		内容		非常階段腐食修繕、雨樋修繕、他	庭石の整備、大釜の整備	エアコン修理等	非常灯バッテリー交換等	植栽場日よけ改修、木造非常階段修繕等	トイレ洗面台修繕、土蔵雨どい修繕等	
				GR付引込開閉器の修繕	門扉・門柱修繕、北側外扉控え柱補強修繕	事務室外壁修繕、非常階段塗裝修繕	本館屋根塗装修繕、遊歩道アスファルト修繕	耕心館母屋外部庭木戸他修繕	耕心館本館外部木製非常階段修繕	
立ち入り検査状況										
遵法検査 ・法で定められている場合、回数を記載。 ・それ以外の場合、非該当と記載。また、施設独自で同様の検査・指導を受けている場合は、その旨を記載。	消防法設備点検 (法定年2回)	2	2	2	2	2	2	2回		
	冷暖房設備 (法定1回)	1	2	2	2	2	2	2回		
	自動ドア (法定外)	2	1	2	2	2	2	2回		
	自家用電気工作物 (法定外)	6	6	2	2	2	2	2回		

※修繕費の項目は平成22年度分評価より記載

総括

		H26	H27	H28	H29	H30		
経費比較 (指定前と指定後)  ※実経費では、「職員の投入実態」及び「物品の提供実態」を除外	算定	指定後	39,107,000	41,782,000	38,869,000	38,411,000	38,410,000	円
		前指定末 (H25)	35,330,500	35,330,500	35,330,500	35,330,500	35,330,500	円
		比較	3,776,500	6,451,500	3,538,500	3,080,500	3,079,500	円
	実経費	指定後	38,932,000	41,607,000	38,694,000	38,236,000	38,235,000	円
		前指定末 (H25)	35,155,500	35,155,500	35,155,500	35,155,500	35,155,500	円
		比較	3,776,500	6,451,500	3,538,500	3,080,500	3,079,500	円
評価	平成26年度 (1年度目)							
1次評価担当課	今年度の来館者数は66,154人と前年比133.7%、16,664人増となりました。これは、平成26年11月に開館した郷土資料館の影響もありますが、自主事業であるコンサート、イベント、展示等の充実を図り来館者が増加したものです。特に2月末から実施した「第10回つるし飾り展」については、10周年の記念として展示場所の拡大、記念品のプレゼントなど新たな企画を実施し、過去最多の来館者を記録いたしました。また、つるし飾り展会期中、地元の名産品である瑞穂ブランドを販売するなど、地域の活性化に取り組んでいます。隣接する郷土資料館と連携して企画を実施するなど、積極的に集客及び地域の活性化に取り組む姿勢は評価できる。							
2次評価指定管理者選定委員会	【主な効果】 新郷土資料館「けやき館」開館の効果による来館者数の増と、耕心館の事業である「つるし飾り展」の充実や、みずほブランドの活用、創意工夫により来館者を増やすなど、来館者の立場で改善に努めている。 【主な指摘】 郷土資料館、さやま花多来里の郷との連携や、従来からのイベントの充実に加え、みずほブランドの販売等、更なる集客力の拡大を図られたい。飽きのこない企画の実践、関連事業との連携による相乗効果、サービス向上策等、今後の運営に期待する。							
評価	平成27年度 (2年度目)							
1次評価担当課	今年度の来館者数は69,698人と前年比105.4%、3,544人増加となった。これは、自主事業であるコンサートや展示等の充実を図り増加したものです。特に「みずほ雛の春まつり」では、郷土資料館、町企画課、姉妹都市委員会と連携した展示等の実施、地元の名産品である瑞穂ブランドの販売、新たな取り組みとして、箱根ヶ崎駅からシャトルバスを運行するなど、積極的に集客に取り組んでいる。周辺施設(花多来里の郷・エコパーク)との連携では、名物スタンプラリーを実施した。周辺施設や地域の方と連携して企画を実施するなど、積極的に集客及び地域の活性化に取り組んでいる姿勢は評価できる。							
2次評価指定管理者選定委員会	【主な効果】 郷土資料館、町企画課、姉妹都市委員会と連携した展示等の実施、地元の名産品である「みずほブランド」の販売、箱根ヶ崎駅からシャトルバスを運行するなど、積極的に集客に取り組んでいる。 【主な指摘】 指定管理者の持つノウハウを活かし、コンサートや展示等の充実、新規事業の取組による集客と、更なる利用者サービスの向上と郷土資料館イベントとの相乗効果にも期待する。							
評価	平成28年度 (3年度目)							
1次評価担当課	今年度の来館者数は59,019人と前年比81.9%、10,679人減少となったが、「みずほ雛の春まつり」では、郷土資料館、町企画課、姉妹都市委員会と連携した展示等の実施、瑞穂ブランドの販売、昨年導入したシャトルバス(箱根ヶ崎⇄耕心館)を増便し、来館者数を増やすことができた。周辺施設(花多来里の郷・エコパーク等)との連携では、名物スタンプラリーを実施した。また、里山民家(武蔵村山市)との事業の実施など、周辺施設や地域の方と連携して企画を実施し、積極的に集客及び地域の活性化に取り組んでいる姿勢は評価できる。							
2次評価指定管理者選定委員会	【主な効果】 シャトルバスを増便することで、来館者数を増やすことができた。周辺施設や地域の方と連携して企画を実施し、積極的に集客及び地域の活性化に取り組んでいる。 【主な指摘】 「みずほ☆きらめき回廊」の拠点としてイベントの実施、他の施設との連携やシャトルバス運行により積極的な集客への取組は評価できる。各種イベント開催情報などを細やかに発信し、更なる利用者の増加を期待する。							
評価	平成29年度 (4年度目)							
1次評価担当課	平成29年度の来館者数は62,322人と前年比5.6%、3,303人増加となった。好評の「みずほ雛の春まつり」では、町企画課、姉妹都市委員会と連携したパネル展の実施、瑞穂ブランド等の販売、耕心館と箱根ヶ崎駅間のシャトルバス運行、周辺地域等と連携した「ひなまつり広域マップ」を作成し、来館者数を増やすことができた。また、花多来里の郷・エコパークと連携した名物スタンプラリーの実施など、積極的に周辺施設や地域の方と連携して企画を実施し、集客及び地域の活性化に取り組んでいる。施設の管理では、適正かつ迅速に行っており、町担当者や指定管理者が協力して業務遂行にあたっている。							
2次評価指定管理者選定委員会	【主な効果】 瑞穂ブランドなどの販売、耕心館と箱根ヶ崎駅間のシャトルバスの運行、さやま花多来里の郷及びみずほエコパークと連携した名物スタンプラリーの実施等、周辺施設や地域の方と連携した企画を積極的に実施し、集客及び地域の活性化に取り組んでいる。 【主な指摘】 アンケート調査を適宜実施し、利用者満足度を向上させようとする取組は評価できる。平成29年度は「西多摩・JR沿線ひな祭り広域マップ」を作成するなど、利用者の利便性の向上も図られている。引き続き適正な運営を期待する。							
評価	平成30年度 (5年度目)							
1次評価担当課	耕心館では、コンサートや企画展、講座やけやき館との連携事業(みずほ雛の春まつり・山野草まつり)など魅力ある事業を実施し、平成30年度の来館者数は67,327人と前年比8.0%、5,005人増加となった。「みずほ雛の春まつり」では、昨年同様に町企画課及び姉妹都市委員会と連携したパネル展の実施、瑞穂ブランド等の販売、耕心館と箱根ヶ崎駅間のシャトルバス運行、周辺地域等と連携した「ひなまつり広域マップ」を作成し、開催期間中の来館者数は1万人を超える大盛況となった。また、積極的に周辺施設や地域の方と連携した企画を実施し、集客及び地域の活性化に取り組んでいる。施設の管理では、適正かつ迅速に行っており、町担当者や指定管理者が協力して業務遂行にあたっている。							
2次評価指定管理者選定委員会	【主な効果】 瑞穂ブランドなどの販売、耕心館と箱根ヶ崎駅間のシャトルバス運行など、来館者の利便性の向上を図り、また、周辺施設、地域の方と連携したコンサートや企画展、講座等の事業を実施し、来館者の集客及び地域の活性化に取り組んでいる。 【主な指摘】 各事業終了後にアンケート調査を実施し、利用者の意見・希望等を事業に反映させ利便性・満足度を向上させようとする取組は評価できる。周辺施設、地域の方と連携したコンサートや企画展、講座等の主催事業の充実と、更なる来館者の増加を希望する。							